



Vol.8 2026. Jul.

生涯学習センター図書コーナーだより

鳥栖市教育委員会生涯学習課 (Tel.0942-85-3694)

Hot Summer! Cool Books!



7月の本棚

梅雨もそろそろ終わり、暑い夏がやってきます。でも大丈夫、生涯学習センターには涼しい自主学習室があります。さあ、涼しいお部屋で本を読もう！

7月は、ハリー・ポッターの誕生日がやってきます。実はハリー・ポッターの生年月日がいつと直接的に書いた箇所は原書の中にはありません。シリーズ第1作目の「ハリー・ポッターと賢者の石」の中の記述と第2作目の「ハリー・ポッターと秘密の部屋」の中の記述から計算するとわかるそうです。

さて、ハリー・ポッターの生年月日はいつでしょう？ 生涯学習センターには、英語版のハリー・ポッター シリーズが1作目から7作目まで全て揃っています。

長ーい夏休み、涼しい部屋でシリーズを読破して、答えを見つけてみてください。

【ハリー・ポッター シリーズ(J.K.ローリング 著)】

○「Harry Potter and the Sorcerer's Stone(ハリー・ポッターと賢者の石)」(英語版)

○「Harry Potter and the Chamber of Secrets(ハリー・ポッターと秘密の部屋)」(英語版)

○「Harry Potter and the Prisoner of Azkaban(ハリー・ポッターとアズカバンの囚人)」(英語版)

○「Harry Potter and the Goblet of Fire(ハリー・ポッターと炎のゴブレット)」(英語版)

○「Harry Potter and the Order of the Phoenix(ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団)」(英語版)

○「Harry Potter and the Half-Blood Prince(ハリー・ポッターと謎のプリンス)」(英語版)

○「Harry Potter and the Deathly Hallows(ハリー・ポッターと死の秘宝)」(英語版)

※1作目から5作目まではアメリカ版で、6、7作目はイギリス版です。1作目の題名がイギリス版と少し違います。

「イギリス版では「Philosopher's Stone」となっているのが、アメリカ版では「Sorcerer's Stone」となっています。これは、アメリカでは「Philosopher」よりも、「Sorcerer」のほうが小説のイメージが子供たちに伝わりやすいと判断されたからだそうです。また、本の中身もスペルや語彙など多少違いがあるようです。

○「ハリー・ポッター大事典 — The Encyclopedia of Harry Potter(寺島久美子 著)」1～4巻に登場する全キャラクターやアイテム、呪文、動物などを一挙総括。約1400項目について、全4巻とその他の関連情報を網羅して詳細に解説する。すべての項目に原語を併記し、巻末に英語・日本語インデックス付き。原語併記なので、原書を読む時にも実用度「大」です。

ハリー・ポッター シリーズの他、この夏に読みたい本を紹介します。

○「世界のすべての7月(ティム・オブライエン 著)」 アメリカの作家ティム・オブライエンによる長編小説です。政治闘争でゆれる大学のキャンパスで過ごしたルームメイトたちが、30周年記念の同窓会で、それぞれのわだかまりを抱えたまま再会します。それぞれが家庭をもち、または離婚し、忍び寄る老いを自覚しながら、過去の傷にとらわれています。かつてのルームメイトたちは、どんな人生を辿り、再会はどんな変化をたらすのか。

○「リプリー(太陽がいっぱい)(パトリシア・ハイスミス 著)」 アメリカの作家パトリシア・ハイスミスが1955年に発表した、持たざる若者の羨望と狂気、そして完全犯罪への挑戦を描いたサイコスリラーです。1960年にアラン・ドロン、1999年にマット・デイモン主演により映画化されています。

○「アメリカの友人(パトリシア・ハイスミス 著)」 名作『太陽がいっぱい』から続く「トム・リプリー」シリーズの第3作目。フランスで優雅に暮らす悪党トム・リプリーが、自分を侮辱した貧しい額縁職人の男に「不治の病で余命わずか」と信じ込ませ、家族に金を残すための「殺人のゲーム」へと引きずり込んでいく心理サスペンス。

○「老人と海(アーネスト・ヘミングウェイ 著)」 アメリカの作家アーネスト・ヘミングウェイが1952年に発表した中編小説です。「人間の尊厳」と「不屈の精神」を描いた名作で、ヘミングウェイがノーベル文学賞を受賞する決定打となりました。84日間も魚がまったく釣れない不漁に見舞われていた老漁師、85日目の朝、老人は一人で小舟を出し、はるか沖合へと向かいます。

○「夏の夜の夢(ウィリアム・シェイクスピア 著)」 ウィリアム・シェイクスピアが1590年代に発表した喜劇の最高傑作です。妖精の住む森を舞台に、人間と妖精たちが巻き起こす一夜のドタバタな恋の騒動を、ユーモアたっぷりに描いています。昨年フジテレビ系で、菅田将暉主演で放映されたドラマ「もしもこの世が舞台なら、楽屋はどこにあるのだろう」の中で、主人公たちが取り組んでいたのがこのシェイクスピアの喜劇です。

○「ザリガニの鳴くところ(ディーリア・オーエンズ 著)」 アメリカの動物学者ディーリア・オーエンズが2018年に発表した小説です。ミステリー、みずみずしい自然描写、そして一人の少女の過酷な成長物語が融合した、世界中で大ベストセラーとなった作品です。

※ [Baker Street Irregulars' Information](#)

シャーロック・ホームズは、事件に没頭すると何日も絶食する極端な食生活を送る一方で、事件が解決すると旺盛な食欲を見せ、グルメな一面を発揮しました。どんなものを食べていたのでしょうか。

○チキンカレー:『海軍条約文書事件』の解決後、朝食として登場します。前夜のローストチキンの残りをハドソン夫人がアレンジしたもので、ホームズは「気がきくね」と喜んで食べています。

○ローストビーフ:イギリス伝統のビーフ料理で、「シンプソンズ」というロンドンに現在も実在するレストランの名物料理です。『瀕死の探偵』の中で、事件のために何日も絶食していたホームズが、事件解決直後に「シンプソンズで何か食べよう」とワトソンを誘います。また、『高名な依頼人』でも二人がここで席を並べて食事をしています。

『シャーロック・ホームズ家の料理読本』(朝日文庫)の中にはいろいろな料理が登場し、当時の食文化がよくわかります。

※Baker Street Irregulars(ベーカー街遊撃隊)

ストリートチルドレン達の集まりで、シャーロック・ホームズの協力者達 シャーロック曰く「スコットランドヤード(警官)より役に立つ。」